物部 白髪山

高知県には白髪山は二座あり
「土佐富士」「韮生富士」とも呼ばれる。
中腹より上は美しい笹原の
スロープが広がり、山頂からは
抜群の展望が広がる。
冬季、雪を冠った姿は遠方からも
美しく見える。四国百名山にも数えられる。

至三嶺へ
韮生越
急坂
三嶺へ4.5
白髪へ2.0
白髪分岐
一望千里の大展望
白髪避難小屋
岩と岩
植林の石碑
明治三十五年
国有林野法施行
面積百町
柚数三十万本
と刻まれている
シカネット
ササ原
モミ林
ところどころ荒れている
歩行注意
窪地
古い標識
上韮生川と槙山川の
分水嶺となる稜線
ブナ林
急坂
Ⓟ3台くらい
ウラジロモミや
ダケカンバの樹林
至別府
土阿国境稜線
物部川系と吉野川系を
分ける分水嶺
平和吃
(1700.8)
三角点名は韮生
二ホンジカの食害で
枯れた木々が
痛々しい。
ササ原の中に無数の
踏道が走っている。
稜線沿いの歩道からの
眺めは絶景
モミ林のタケくがシカの
食害によって枯れている
会山～白髪山間約五里の山道を開拓したのは
伊予国出身の安蔵(安佐衛門)という人で会山を
大変信仰していた。明治後期 高ノ瀬の岩屋に
寝泊りして食うや食わずで暮らしたという。(伊勢の岩屋と
呼ばれている)
安蔵が伊勢の岩屋に立てるといって刻んだ石像の
不動尊が今も久保沼井のバス停留所
にある。
白髪山
遠望も美しい白髪山
香美市香北町を物部に向かって行くと
正面に裾野を広げた三角形の
山容の白髪山が見えてくる。
雪を冠った冬季には高知や
南国方面からも遠望できる。
特に南国平野の堀ノ内から
見える姿はまるで富士山の
ように美しい。

はるかに見えるほんとうの空
はるかに続く緑の稜線
美しい三嶺の森を
みんなで守ろう!!
シカの被害は三嶺の森にとって、希少種が失なわれる、ササや下層植生が
枯れる、樹木が枯れるという植生・生態系、生物多様性の被害をはじめ
国土保全面や保水力低下、水質悪化という森の力が衰退した
ことにより深刻な問題を起こしている。
土壌の表面を保護している植物や樹木の根がなくなり崩壊や土砂の
流出を防ぐ機能が失なわれ、落ち葉まで食べつくすことから腐葉土層の
力が弱り雨水をためて除々に地下に浸透させ浄化する機能も
おとろえ、渓流による汚染や、濁水の原因にもつながっている。
物部川の源流域をシカの脅威から守らなければならない。

眼下に広がる原生林と
三嶺～剣山系の連山一望
巨大な岩塁
北のテラス
白髪山
(1,770m)
南斜面のササの
スロープがとても
美しい
鹿の食害で白骨林
ササ原広がる
森林限界
抜ける
ササ原の中に
岩が点在している
ろくろくと林道のまわりは深い
ブナの天然林
風が吹くとササの葉は
白く銀色に光りながら
サラサラと音を立てて鳴る。
雪を冠ると遠くの山が
大きく見えるから不思議だ
足元から広がるササ原
山頂から北半分は西熊山を
中心とした美しい山容と
深い原生的な景観が広がり
南側は笹定山尾根筋の
天然林を除くとほとんどが
スギ・ヒノキの人工林が広がる。
遠くは御荒前山など幾重
にも山並みが重なり
高知平野や土佐湾がのぞんで見える。

池のまわりはササが深く
道もないので要注意
池のまわりは鹿の目の
ように踏道が通っている。
動物たちが生命をつなぐ
ている水場だ。
白髪池
池の扉風岩
ろくろくな木段道
急登
白髪山登山口
Ⓟ広場
WC
白髪山は物部川
源流部のちょうど
真ん中に位置する
白髪山の大きな谷
(1559m)
みやびの丘
おだやかな丘
剣山～次郎笈～
石立山など眺望
山頂に東屋
ブナ大木
ラス巻やネットで
シカから植林を
守っている
みやびの丘は 祖子皇后の
御成婚に由来する 1993
みやびの丘と白髪の池は
ほぼ同平の標高に
位置している
鳥虫けもの草木花
春夏秋冬連れてこい♪♪
四季折々に美しい
至ヒカ石
井地山林道
白髪山頂の前方にある巨大な
岩峰「北のテラス」からは眼下
に広がる原生林や三嶺～
剣山～王子岳～剣山系の連山を
一望できる。

奥物部の森林開発
河川の流送により伐採・搬出する
方法で開発が行なわれていた。
20世紀初頭から開発が本格化
する。
大正初期には大栃から川口にか
けて森林軌道が建設され、
その後、順次奥地に延び、
昭和7年に別府入口まで完成。
別府峡の奥深くまで森林軌道
が完成するのは67年を要し
一層開発規模が拡大する。
加えて戦後の高度経済成長
下での大規模な奥地開発に
より自然林、原生的森林は
大幅に減少し、わずかに尾根筋に
名をつっている。

NO.121
2022.2.4
立春大吉